

事務事業名	病院システム管理事務	所属 部門	公立芽室病院	経営企画係
町長公約	公立芽室病院の医療体制充実と経営安定化			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 電子カルテシステム等の安定的な運用と維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) 院内電子カルテシステムに関連する機器
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 診療時に支障なく日常業務で利用できる性能の維持
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 安定的な業務の継続による安全な医療の提供

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 委託件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 管理している機器の台数	台
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 受診者に影響を与えた障害件数	件
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 患者数(外来)	人
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	26,351,325	24,135,430	22,533,225	0	0	0
	事業費計	円	26,351,325	24,135,430	22,533,225			
活動指標	①	件	1	1	1			
	②							
	③							
対象指標	①	台	279	286	295			
	②							
	③							
成果指標	①	件	0	1	0			
	②							
	③							
上位成果指標	①	人	55,001	62,238	58,305			
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 2002年に電子カルテを導入し、関連するシステム及び関連する機器の維持管理を行う。機器の経年劣化による故障やOSのサポート期限が切れていることから令和4年度に電子カルテシステムの更新を行った。新システムはこれまで当院が長期間使用してきたシステムとは異なるベンダーが開発したシステムであることから、使用する各医療職の業務に支障が出ないよう、派遣のシステムエンジニアが医療職の操作やマスタ管理のサポートを担っている。今年度も引き続き各医療職が新システムを有効に活用し、円滑に業務遂行ができるように管理業務に取り組む。	2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法) 2021年度から医療情報システムに特化したシステムエンジニア派遣を開始し、2022年度に更新した医療情報システムの保守・メンテナンスを行っている。2024年度は診療報酬改定があり、マスタメンテナンス作業が医療職にも発生しており、通常業務に加え、システムに関する業務が多くなっている状況だが、システムエンジニアがサポートを担うことで、負担軽減を図る。またサイバー攻撃に備え、バックアップデータを院外で保管する仕組みを導入予定であり、安定的にシステム運用・管理を行い、患者サービス向上へと結びつけるように取り組む。
---	--

事務事業名	病院経営企画事務	所属 部門	公立芽室病院	経営企画係
町長公約	公立芽室病院の医療体制充実と経営安定化			
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

病院の経営理念を達成に向けた事業の推進。  
今後も継続して患者が安心して医療を受けることができる体制を維持するため、  
医療職（医師、看護職、診療技術職）の経営に対する意識について、更なる醸成が必要。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

令和6年度で2年目を迎える自律経営プロジェクトに関して、医療職（医師、看護職、診療技術職）が仕組みを理解しつつ取組みを推進できおり、病院全体で取組みを継続することで経営参画意識向上を図る。  
院内改善活動として取り組んでいる「できることから始めようプロジェクト」は全国自治体病院学会で一般演題発表を行ったことで、北海道医療新聞等に取り組み内容を掲載されるなど、注目を集めることができた。令和6年度も希望する職員が誰でも参加できる「全職員での経営改善」の実現に向けて、プロジェクト事務局の運営を行い、取組みを推進していく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計	円						

事務事業名	病院広報広聴事務	所属 部門	公立芽室病院	経営企画係
町長公約	公立芽室病院の医療体制充実と経営安定化			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

利用者及び関連施設等への広報広聴活動

2. 対象(何を対象にしているか)

町民

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

病院の診療に関連する情報提供及び病院職員の各職域における専門性を生かした町民・関係機関向け講座の実施等の取り組みを知って頂く場を設けることで、病院を身近に感じることができるようにする。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

病院利用者が安心して受診することができる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	町民・関係機関向け講座開催回数	回
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	町民	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	講座参加人数	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	外来患者数	人
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	255,354	391,688	193,688	0	0	0
	事業費計	円	255,354	391,688	193,688			
活動指標	①	回	3	5	8			
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,117	17,983	17,837			
	②							
	③							
成果指標	①	人	47	131	331			
	②							
	③							
上位成果指標	①	人	55,001	62,238	58,305			
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

2023年度は感染症の状況が大きく改善したことで、出前講座の積極的な周知に取り組んできた。公式ホームページやFacebookやInstagramなどのSNSによる情報発信に加え、当院利用者の年齢層を意識した媒体での情報発信を継続して行っていく。また、公式ホームページの運営について、保守管理を専門業者へ委託し、当院の新たな取組みなどを町民や利用者にアクセスしやすくわかりやすいホームページとなるように取り組みを継続していく。

2. 今後の取組(2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法)

町民及び関係機関向けの講座運営を拡大できるように推進していく。直接対面する形での事業実施に加え、公式ホームページでの積極的な情報発信やSNSを用いて健康推進情報を発信するなど、広報広聴事業を推進していく。

# 2024 年度（2023 年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号

事務事業名	医療事務システム(受付再来・会計・精算)維持 管理事務	所属 部門	公立芽室病院	経営企画係
町長公約	公立芽室病院の医療体制充実と経営安定化			

## ◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 医療事務機器及びシステムの不具合への対応
2. 対象(何を対象にしているか) 院内の維持コンピュータ機器、システム
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 支障なく日常業務で利用できる性能を維持する
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 安定的な業務の継続

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 委託件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 管理しているコンピュータの台数	台
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 受診者に影響を与えた障害発生件数	件
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 患者数	人
②	
③	

## ◆ 総事業費・指標等の推移

内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費							
国・道支出金	円						
地方債	円						
その他(使用料等)	円						
一般財源	円	2,381,650	2,381,650	0	0	0	0
事業費計	円	2,381,650	2,381,650	0			
活動指標	① 件	5	5	0			
	②						
	③						
対象指標	① 台	19	19	0			
	②						
	③						
成果指標	① 件	0	0	0			
	②						
	③						
上位成果指標	① 人	70,000	70,000	58,305			
	②						
	③						

## ◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 2022年度に更新したシステムは、旧システムと異なり電子カルテシステムと医事システムが一体化したものとなっていることから、現状は医療事務システムとして独立したシステムは存在せず、「病院システム管理事務」において包括して管理を行っている。	2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法) 電子カルテシステム更新に伴い、「病院システム管理事務」で当該システムの保守管理を行っているため、廃止とする。
---	---

事務事業名	医療相談室運営事業	所属 部門	公立芽室病院	経営企画係
町長公約	公立芽室病院の医療体制充実と経営安定化			
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

相談援助種別では、「受診・受療」に続いて、「退院支援」が続く。早期介入を心がけることで、退院先（在宅復帰・施設受入）選定や調整が円滑に進んでいる反面、患者の地元志向も強く調整期間を要する場合もある。傷病を契機、または顕在化した生活課題に対して、資源不足に着目し、関係機関へのアプローチや新たな資源の構築、整理の場を持つためにソーシャルワーカー介入の必要性がある。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

本事業については、今後院内の地域連携室地域連携係で当該事業を担当するため、事務事業として廃止とする。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計	円						